



性格分類タイプと働き方

この適性検査におけるパーソナリティー判断には、背景にドイツの精神科医クレッチマー（1888～1964）の性格類型論が用いられています。彼は心の病をもつ人々の病前気質と体型の関係に注目しました。細長型はS気質、闘士型または筋骨型はP気質、肥満型はA気質の3分類に大きく分けたのです。ほかに慎重なタイプのN型、積極的なH型、またそれらを複数もつとされる複合タイプのM型を加えて、6類型を提唱しました。

まず大きな特性をもつS気質とは、物静かで非社会的、ユーモアがなくデリケートな性格で通俗的なものには関心がなく、自分だけの世界を作り上げ、そこに孤立的・閉鎖的に暮らしています。文学、美術などの芸術に才能を発揮することが多く、洗練されたセンスをもっています。関心のない分野には冷淡で、対人関係の形成には消極的、好き嫌いが激しいといわれます。

それと対比的な性格が両極周期傾向をもつA気質です。このタイプの人は一貫して社交的で善良、親切で温かみのある性格です。気分が高揚しているときはユーモアがあり、活発に活動します。その反動からか周期的に沈み込む時期が見られます。状況に左右される思考は一貫性が見られず、軽率で思慮が浅いという面もあります。その半面、敏速で理解が早く、自己の過大評価に陥らない限り、社会的に最も成功を収めやすいタイプとも言われます。

Aタイプと対極的に位置するもう一つの気質が、闘志型の体型をもつP気質です。このタイプは几帳面で礼儀正しく、義理堅い性格です。着実に手堅く忍耐強いのですが、ストレスを内に溜め込み、我慢が一定を超えてしまったときの怒りはすごいものがあります。対人関係では、信頼は置けるが面白みに欠ける剛直な点が気になります。コツコツと手がけたことは最後まで粘り強くやり通しますが、多少、手際が悪く、無骨さを感じられます。

Nタイプは用心深く慎重なのですが、少し自信に欠けるところが見られ、物事を積極的に進められない弱点をもちます。もっと自分に自信をもち、チャレンジしていくようになると可能性が広がります。Hは元気で明るく積極的です。相手の心情にも細やかに対応でき、優れた表現力をもちますが、主張しすぎる点がネックです。Mはまだ「これだ」という自我を形成してないので、いろいろな性格の人と見られがちです。これから自分らしさが出てくる「大化け」する人材ともいえます。

人はそれぞれ気をつけなければならない傾向があります。
下記のキーワードが出てきた場合は要注意です。

甘えん坊

他責的

わがまま

無反省

依存性

責任転嫁

移り気

冷徹

独断専行

放任・拒絶

残酷

高慢・強引

横柄

見下す

人にはそれぞれ、好不調のときがあります。健康で体調も良くて、何をしてもうまくいきそうな気分がする元気はつつのとき、勉強や仕事も楽しくスムーズに頭に入りそうでご機嫌です。

それに対して何をやってもうまくいかなかったり、気分が優れずやる気が出なくなったり。体力が落ちていて、気分的にも意欲が湧かないときがあります。また、時間がなくて焦っていたり、突然の状況変化で都合が悪くなったりしたとき、自分の中に潜んでいる「投げやりな気持ち」が表に出てきます。焦っていたり、思うようにいかなかったりしたときです。

上の枠内に示したような14の気分や態度が出てきたら、それはあなたの中の“マイナス面”が登場し始める直前です。気をつけましょう。

そんなときは、相手との共感性がほとんど失われかけていて、思いやりや気配り、優しさが消えかけています。また社会性も薄くなりかけていて、自分の役割と相手のそれとの確認にズレが出ていることがあります。これから出会う、たとえば学校の場面ではほかの先輩先生たちや子どもたち、その父母などの家族やPTAといったいろいろな人々と接触します。学校だけでなく一般企業や役所などで、指導やサービスを通じて世間の人たちと出会うことが多数繰り返されていくはずですが、そんなときに、もしも上記のような気分が自分に現れたら、「そうだ、こんなことではいけない」と早く気づき、「よし、またいつもの自分に戻るんだ」と、気合を入れ直すと良いでしょう。

性格分類タイプによって適合する職種が異なります。

A+タイプ 収集したデータから外部顧客への商品拡販

①情報発信 ②チャンネル開発 ③対外折衝 ④未知の発見

A-タイプ 内部要員への教育訓練などの人材再生産

①指導 ②支援 ③チャンネル維持 ④顧客対応

P+タイプ 管理業務の全般的掌握と要員の指導

①管理 ②指導 ③接客 ④チーム編成

P-タイプ 組織の各部署の編成確認や商品の確認

①点検 ②内勤 ③検査 ④ロジスティクス点検

S+タイプ 収集したデータを分析して新商品の開発

①開発 ②分析 ③中長期的計画 ④未知の発見

S-タイプ データ解析と周辺分析の補助作業

①定型 ②事務 ③連絡 ④統計分析

H+タイプ データ収集して開発された商品の販路作成

①接客 ②情報発信 ③企画 ④plan_do_see (計画・実行・評価)

H-タイプ 新商品の販路拡大に必要な環境作成

①介護 ②販売 ③情報収集 ④フォローアップ

N+タイプ 組織内部の情報確認の全般

①確認 ②点検 ③事務全般 ④文章推敲

N-タイプ 数字の取り扱い、点検

①情報収集 ②経理 ③保守 ④連絡

M+タイプ 外部情報の収集、まとめ

①オールラウンド ②接客 ③開発 ④横展開

M-タイプ 数字の取り扱い、点検

①情報収集 ②内勤 ③販売 ④フォローアップ

お問合せ先

info@tekisei-kensa.jp

運営会社

株式会社ブレインアカデミー

〒107-0061 東京都港区北青山 1-3-2 クローバー青山・ONE 7F

TEL : 03-6455-5320 FAX : 03-6455-5321

Mail : shigaku-jinjibu@brainacademy.co.jp